記入例２　障害等の種類…肢体不自由

※赤字の箇所…記入例、青字の箇所…記入上の注意

平成２５年６月１０日

国立大学法人宮崎大学長　殿

相　談　申　請　書

国立大学法人宮崎大学(一般入試)を受験するに際して下記のとおり相談を申請します。

記

１．相談者氏名　：　宮崎　太郎
　生年月日等　：　昭和・平成　６年　３月３１日生　男・女

２．志望学部・学科（課程・コース・専攻等）・日程等
　教育文化学部学校教育課程初等教育コース　前期・後期　※一般入試で工学部志望の場合は、第２志望を記入（有無も含めて）してください。

３．障害等の種類・程度　※医師の診断書等を参考に記入。種類は次頁参照
　種類：肢体不自由（下肢）
　程度：両下肢の麻痺による歩行障害のため車椅子を使用している
※その他の種類としては、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱（呼吸器・心臓・腎臓疾患等）、発達障害（自閉症、アスペルガー症候群等）

４．受験上及び修学上特別な配慮を希望する事項　※必要と思われる配慮を記入。措置の例は次頁参照
　○受験上
　①車椅子の使用　②別室に試験室を設定（1 階又はエレベーターが利用可能）
　③試験室を身障者用トイレ近くに設定　④試験室までの付添者の同伴
　⑤試験場への乗用車での入校　⑥特性机・椅子の持参使用
　○修学上
　①障害者用駐車場の使用許可　②保健・体育等（実技）の配慮　③特性机・椅子の持参使用

５．出身学校でとられていた特別措置　※出身学校にてとられていた措置内容を具体的に記入
　校内は身障者用トイレ、エレベーター、スロープを設置しており、日常的に使用している。授業中は特性机・椅子を使用しており、県教育委員会から生活支援員（※）を配置してもらっている。授業は教科書、板書は通常通りで特段の配慮はしていない。通学は生活支援員が送迎している。
　※役割は身体介護（特性机・椅子の移動、トイレ、食事等）の支援

６．日常生活の状況　※日常生活の状況を具体的に記入
　移動は手動型車椅子で、段差がある場所では移動が難しい場合がある。手すりがあれば伝い歩きができ、トイレは障害者用トイレがあれば自力でできる。
　通学が困難なため、入寮を希望している。

７．住所及び連絡先の電話番号
　郵便番号　：　８８９－２１９２
　住　　所　：　宮崎県宮崎市学園木花台西１－１
　電話番号　：　０９８５－５８－７１３８
　メールアドレス　：　nyushi@of.miyazaki-u.ac.jp

（用紙のサイズ：Ａ４判）

障害の区分・程度・希望措置の例

区分	障害の程度	措置の例
①視覚障害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの	・拡大文字問題冊子、解答用紙の配布 ・拡大鏡等の持参使用 ・窓側の明るい座席を指定 ・照明器具の持参使用
②聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの	・注意事項等の文書による伝達 ・座席を前列に指定 ・補聴器又は人口内耳の装用
③肢体不自由	１．肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２．肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの	・代筆解答 ・介助者の配置 ・試験室を１階に設定 ・トイレに近い試験室で受験 ・車椅子，杖の持参使用 ・試験場への乗用車での入構
④病弱	１．慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２．身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの	・試験室を１階に設定 ・杖の持参使用 ・別室の設定
⑤発達障害	自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害のため特別な措置を必要とするもの	・拡大文字問題冊子、解答用紙の配布 ・注意事項等の文書による伝達 ・別室の設定 ・トイレに近い試験室で受験
⑥その他	①～⑤の区分以外の者で特別な措置を必要とするもの	・トイレに近い試験室で受験 ・座席を試験室の出入り口付近に指定 ・別室の設定

備考　１．視力の測定は，万国式試視力表によるものとし，屈折異常があるものについては，矯正視力によって測定する。
　　２．聴力の測定は，日本工業規格によるオージオメータによる。